

第687回番組審議会報告

2024年4月2日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長、栗栖義臣副委員長、川瀬慈委員、木戸哲委員、
小島幸保委員、津村記久子委員、増山実委員、安田真奈委員

■毎日放送出席者

虫明社長、宮田副社長、高山常務、酒井取締役、北野取締役、
田淵総合編成局長、柴田コンプライアンス局長、中西番組審議会事務局長

◆議題

1. 委員長・副委員長の選出

今年度の委員総数は前年通り8人。委員長に佐藤卓己委員、副委員長に栗栖義臣委員が選出された。

2. 報告事項

(1) テレビの4月改編の概要について、総合編成局長が報告した。

(2) 放送番組の種別の公表制度に基づき、2023年度下期6か月分の番組種別ごとの放送時間を総合編成局長が報告した。あわせて同期間のCM総量及び4月以降の基本番組表についても報告した。

◆議事の概要

2- (1) テレビの4月改編について

改編率は昨年4月の19.4%に比べて昨秋は8.3%と小幅になったが今回は13.8%と再び高い改編となっている。ゴールデン（19時～22時）では23.2%、プライム帯では24.0%。水曜日の20時に行列のできる繁盛店や激安のお店の儲けの仕組みを紹介する「ゼニガメ」をスタート。深夜ゾーンに曜日が分かっていた若手ディレクターと芸人がコンテンツを作るバラエティー番組「あれみた？」を1時間に集約する。木曜日の24時26分にアニメ「WIND BREAKER」をオンエアするなど他局の制作も含め合計15本のアニメを放送する。土曜日の午前6時30分から街ぶらロケ番組「土曜のあさはほめるちゃん」がスタート、また「映像'24」は日曜早朝5時に時間移動する。4月からの自社制作率は23年度下期から2.0ポイント上がって27.3%になる。

2- (2) 「放送番組の種別」の報告について

2023年度の下期は総放送時間が5万9,991分。報道番組1万2,184分（総放送時間の20.3%）、教育7,985分（同13.3%）、教養1万5,224分（同25.4%）、娯楽2万345分（同33.9%）、通販3,495分（同5.8%）、その他758分（同1.3%）。前年同期と比べて娯楽が増加し報道、教育、教養が減少している。また、この半期のCM放送実績は1万791分で、総放送時間に対する割合は17.9%。

以上